

千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議 会報

ちばSSKネットワーク

しない、させない、孤立化!

～ INDEX ～

- 1 高齢者を地域で支える活動に係るアンケート調査結果
- 2 参加団体の取組事例
- 3 市町村におけるネットワーク整備状況
- 4 認知症サポーター養成講座について

◆ はじめに

千葉県では、全国第2位のスピードで高齢化が進行し、2年後の平成27年には高齢化率24.7%と、県民の4人に1人が65歳以上の高齢者となる見込みです。

また、高齢世帯に占める独り暮らし世帯やご夫婦だけの世帯の割合は6割を超えて推移しており、家族の絆や地域の絆が希薄化する中、支援を必要とする高齢者等を地域で高齢者を支える仕組みづくりが、大きな課題です。

県では、地域において多様な主体がネットワーク化し、日常生活・日常業務の中で「声かけ」「見守り」「支え合い」により、高齢者を支える仕組みづくりを進めることが重要と考えました。

この趣旨に御賛同いただいた県域組織の53団体の参加を得て、平成24年3月に「千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議」を設置し、地域のネットワークづくりを支援しています。

この度、情報交換・共有の一環として、参加団体の取組状況や事例、市町村のネットワーク整備状況等を取りまとめた会報紙を作成いたしました。

高齢者が地域で孤立化することなく、必要なサポートを受けながら安心して暮らせる体制づくりに、皆様の御協力をお願いします。

(事務局) 千葉県健康福祉部高齢者福祉課
TEL 043-223-2237

高齢者を地域で支える活動に係るアンケート調査結果

千葉県では、このたび構成団体を対象に、高齢者を地域で見守る活動の状況や活動への提案などについて、アンケート調査を実施しました。

調査期間	平成25年1月18日～平成25年2月8日
調査対象	千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議構成機関・団体等
調査方法	アンケート様式を送付の上、FAX及びメールにて回答
調査結果	27団体及び138関連施設より回答を回収

結果の概要

1 活動状況について（高齢者を地域で見守る活動のうち実施・協力している活動）

高齢者を地域で見守る活動として、「虐待や徘徊SOS等ネットワークへの参加」「独居高齢者宅への訪問・見守り活動等の孤立化防止活動」「認知症や法律に関する相談事業」「認知症サポーター養成」が多く実施されています。

ネットワークへの参加（虐待／徘徊SOS／自治体との連携、等）	54件
独居高齢者宅への訪問／見守り活動／孤立化防止活動	45件
相談事業（認知症／法律、等）	30件
認知症サポーター養成講座の実施	30件
普及啓発活動（認知症／SSK、等）	24件

<活動事例>

・「柏市認知症にやさしいまちづくり会議」に参加。柏市役所、柏市医師会、柏市介護支援専門委員協議会、NPO法人柏市民グループホーム連絡会、認知症の人と家族の会、介護保険関係施設、認知症関係団体、柏市社会福祉協議会で構成。

認知症及び認知症予防の正しい知識の普及啓発や、認知症の早期発見と早期治療の支援について関係機関との連携を強化しながら活動している。【柏市医師会】

2 活動に係る問題について（困難を感じていること）

高齢者を地域で見守る活動を進めるにあたり困難を感じていることとして、見守りを必要としている高齢者の情報が得られないなど「個人情報」に関する問題が多くあげられました。

又、「行政や専門職との連携不足」や「高齢者自身の見守り・サービス拒否」という回答も多くありました。

個人情報の共有（情報提供不足）／取扱い	24 件
連携不足（行政／他専門職）	22 件
見守り・サービス拒否	20 件

< 困難事例 >

・個人情報保護法への過剰反応により、様々な機関・団体が見守りを必要としている高齢者の情報を断片的に所有しており、団体同士が協働や役割分担しながら高齢者を包括的に支援することが困難になっている。又個人情報の保護を理由として、見守りや支援が必要な高齢者に対しても介入しないようになってきている。

・振り込め詐欺などの犯罪の影響もあり、知らない人には、玄関も開けてくれない事態が増えており、地域の顔見知りの方と同行するなど高齢者へのアプローチを試みたい。

2 活動に係る問題について（会議構成員に協力願いたいこと）

構成団体に協力してほしいことについては、各団体・機関の情報開示、活動事例の紹介、学校への働きかけへの行政の支援、協力依頼方法の助言等があげられました。

3 取組提案について（取組への提案／協力できること）

協力可能なこととして、徘徊高齢者の発見や専門知識などに関する情報提供が一番多く寄せられました。続いて、市民への普及啓発やネットワーク構築となっています。

情報提供（徘徊高齢者発見／専門知識など）	43 件
市民への普及啓発	19 件
ネットワーク構築	16 件

< 提案 >

- ・見守り対象者の情報の共有ができればよい。
- ・市町村等から要請があれば、情報提供を出来るような体制をとる。
- ・事例検討等、問題を共有できればよい。

高齢者を地域で支える活動を実施するためには、関係機関との連携が必要不可欠です。見守り対象の高齢者や家族の個人情報の問題など、関係機関同士の情報の共有が活動を実施するなかで重要になります。

認知症支援や虐待防止、振り込め詐欺の防止では、地域の方々の支援によって事件を未然に防ぐことができた事例もあります。ネットワークに参加することだけでなく、正しい知識を持つことで、支援につながるがあります。

各団体・機関の皆様には、引き続き、高齢者を地域で支える活動に御協力いただければと思います。

参加団体の取組事例

「高齢者を地域で支えるネットワーク会議」の構成団体で行われている積極的な取組事例について紹介いたします。



◆ 生活協同組合コープみらい ～笑顔と信頼あふれる地域のために 地域と連携した活動～

地域生協では、訪問介護や高齢者施設などの福祉事業のほかに、組合員同士が助け合いのネットワークを作り、困った時に日常生活の手助けをする福祉・助け合いの活動を広げています。

高齢者や産前産後のお母さんのための家事手伝い、留守中のペットの世話、草取り、話し相手、病院への薬取りなど様々な生活上の応援をおこなっています。

高齢者の見守りとして、高齢者のお宅へ配達する際に様子確かめる取り組みの他、行政による高齢者の見守りネットワークに参加している地域もあります。

.....

コープみらいでは、2011年に習志野市の高齢者見守りネットワーク事業へ参加以降、2013年3月までに5市と協定を締結しています。

その他千葉市の一部地域限定の高齢者見守りネットワーク会議へも参加しています。

高齢者見守りネットワーク協定を締結している行政	
2011.5.25	習志野市
2012.5.10	袖ヶ浦市
12.19	八街市
2013.3.25	佐倉市
3.26	いすみ市

高齢者見守りネットワーク協定の主な内容
『日常の業務において、地域の高齢者に対し、監視的ではない「さりげない見守り」を行い、何らかの異変を発見した場合に当該市へ連絡する』

協定後の対応
該当宅配センターへ「地域コミュニティとの協力事項引継ぎ書」を作成し、所属長が職員への周知と後任者への引継が行われるようにしている。

◆ イオン株式会社
 ～従業員を対象にした「認知症サポーター養成」の取り組み～

イオンでは、人にやさしいお店づくりにハードとソフトの両面から取り組んでおり、認知症サポーター養成もその一つです。

高齢化に伴い認知症の人が増加しており、店舗でも「認知症」のお客様への対応が現実として発生していること、また、従業員の中にも、ご家族が認知症で介護をしている人がおり、身近な問題となっていることなどが、取り組みの背景となっています。

- 接客時に「認知症」と思われるお客様に気配り 心配りのある適切な対応が出来る。
- 「認知症」のお客様への対応に困った時に、地域の専門家への引き継ぎが出来る。
- 地域活動の一環として自治体・NPO・民間の介護施設等と協働で活動が出来る。

など、イオングループ従業員が「認知症」について理解し、職場・地域・家庭で役立てることを目指して、認知症サポーター養成に取り組んでいます。

認知症サポーター養成講座は、各社・各地域のニーズ・要請に応じて、下記4本柱で展開しており、2007年～2012年12月20日現在、全国で32,843名の認知症サポーターを養成しました。

<p style="text-align: center;">① 自治体とのタイアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括提携協定 ・自治体からの要請 <p style="text-align: center;">地域のグループ各社合同で実施 講師：自治体から派遣</p>	<p style="text-align: center;">② 新店・改装オープン</p> <p style="text-align: center;">新店・改装オープン時の 従業員教育</p> <p style="text-align: center;">結団式などで実施 講師：協議会を通じて自治体から派遣</p>
<p style="text-align: center;">③ 会議体・セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店長会議、店次長会議 ・各種セミナー <p style="text-align: center;">職位・職種に応じて実施 講師：協議会を通じて派遣</p>	<p style="text-align: center;">④ 社内キャラバンメイト</p> <p style="text-align: center;">社内キャラバン・メイト（講師）を 養成して実施</p> <p style="text-align: center;">各店舗で従業員対象に実施 講師：研修を受けた社内講師</p>

*協議会：全国キャラバン・メイト協議会

イオンの「認知症サポーター」として、

【地域と店舗が速やかに連携できる体制づくり】

【お客様への「気配り」「心配り」ができる従業員の養成】を推進してまいります。

市町村におけるネットワーク整備状況

市町村における各ネットワークの整備状況(H24.6 調査結果)をご紹介します。
行政の「高齢者福祉担当課」、高齢者の相談窓口である「地域包括支援センター※」、
高齢者の見守り、地域福祉を主たる業務としている「民生委員」「社会福祉協議会」、
異変時や捜索に対応する「警察署」「消防署」は、多くのネットワークで構成メンバー
となっております。

◆ 高齢者の孤立化防止、見守り活動に係るネットワーク 19 市町村

高齢者宅を訪問する機会を持つ「ライフライン事業者」「流通事業者・小売事業者」
「郵便局」、日頃高齢者と接する活動をする「町内会・自治会」「老人クラブ、婦人会等」
の参加が多くみられます。

主に①高齢者宅への訪問、②日常の生活・業務において異変を発見した際の通報、
③関係機関の情報共有・連携強化を行っています。

◆ 認知症徘徊・見守りネットワーク 24 市町村

徘徊を発見しやすい立場である「交通機関」「郵便局」、認知症の方への対応等関心
が高い「流通事業者・小売事業者」「金融機関」、日頃認知症の方と接する「介護事業
者」「医療関係者」等が多くなっています。

防災行政無線、メール、FAX 等により徘徊し行方不明者になった方の情報を共有
して、早期発見・保護に努めています。

◆ 高齢者の権利擁護（虐待防止）のためのネットワーク 29 市町村

虐待の早期発見・見守り、保健医療福祉サービスの介入支援、又専門的な助言・
対応等について期待されることから、「介護事業者」「弁護士」「地方法務局」「人権擁
護委員会」「医療関係者」「健康福祉センター」等が参加しています。

個別の事案に対するケース会議のほか、啓発活動や情報交換、研修会等を行って
います。

※ 地域包括支援センター（H25.2 現在 138 箇所、全市町村が設置しています。）

地域住民の心身の健康の維持、生活の安定、保健・福祉・医療の向上と増進の
ため必要な援助、支援を包括的に担う地域の中核機関です。

介護、福祉、医療に関することなど、どこに相談していいかわからない場合も、
まずは、各市町村の地域包括支援センターにご相談ください。

認知症サポーターの養成



チーバくん

千葉県では、平成18年度から認知症サポーター養成講座を実施しています。(認知症高齢者やその家族が、地域で安心して暮らし続けるためには、県民一人ひとりの認知症に対する理解が何よりも必要です。)

◆ 認知症サポーターとは

認知症サポーター養成講座を受講した人を「認知症サポーター」と呼びます。この講座を受講すると、認知症サポーターの証である「オレンジリング」を渡されます。

認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。



認知症は誰でもなる可能性のある病気です。いつ自分や家族が、あるいは友人や知り合いが認知症になるかわかりません。認知症について他人事として無関心でいるのではなく、「自分たちの問題である」という認識を持ち、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

◆ 認知症サポーター養成講座を受講するには

認知症サポーター養成講座は、「認知症サポーター養成講座事務局」が開催しています。千葉県高齢者福祉課及び県内各市町村に設置されています。

受講希望の団体からの依頼での開催も実施していますので、受講希望の際は、各事務局までお問い合わせください。

(事務局一覧：http://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/shien/ninchishou/supporter_caravan.html)

◆ 千葉県内の認知症サポーターの活動

<【松戸市】松戸市あんしん一声運動～オレンジ声かけ隊～>

松戸市あんしん一声運動は、日頃の生活の中で、手助けが必要な高齢者を見かけた時に声をかけ、高齢者を地域全体で暖かく見守っていくことを目指した運動です。

この運動は、認知症サポーター養成講座を受講し、市に登録した認知症サポーター（個人／団体）の『オレンジ声かけ隊』が行います。



オレンジ声かけ隊長
ゆーかりくん

千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議 構成機関・団体等一覧

(H25. 3 時点 53 団体)

イオンリテール株式会社南関東カンパニー	千葉県商店街振興組合連合会
(一社)千葉県エルピーガス協会	千葉県商店街連合会
(一社)千葉県経営者協会	千葉県人権擁護委員連合会
(一社)千葉県経済協議会	千葉県新聞販売組合
(一社)千葉県高齢者福祉施設協会	千葉県信用農業協同組合連合会
(一社)千葉県歯科医師会	(JAバンク千葉信連)
(一社)千葉県社会福祉士会	千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会
(一社)千葉県商工会議所連合会	千葉県中小企業家同友会
(一社)千葉県タクシー協会	千葉県中小企業団体中央会
(一社)千葉県バス協会	千葉県町村会
(一社)千葉県ホームヘルパー協議会	千葉県デイサービスセンター協会
(一社)千葉県薬剤師会	千葉県弁護士会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会	千葉県訪問看護ステーション連絡協議会
(一社)日本民営鉄道協会(関東鉄道協会)	千葉市町内自治会連絡協議会
(公財)千葉県民生委員児童委員協議会	千葉司法書士会
(公財)千葉県老人クラブ連合会	千葉地方法務局
(公社)千葉県医師会	中核地域生活支援センター連絡協議会
(公社)千葉県看護協会	東京電力株式会社千葉支店
(公社)日本水道協会千葉県支部	(特非)千葉県介護支援専門員協議会
(公社)認知症の人と家族の会千葉県支部	(特非)ちば地域密着ケア協議会
(社福)千葉県社会福祉協議会	日本司法支援センター千葉地方事務所
生活協同組合コープみらい	(法テラス千葉)
千葉家庭裁判所	房総ガス協議会
千葉県経済同友会	郵便事業株式会社千葉支店
千葉県在宅サービス事業者協議会	千葉県
千葉市長会	千葉県教育庁
千葉県生涯大学校卒業生学習会	千葉県警察本部
千葉県商工会連合会	